

芸備線再構築協議会に係る実証事業について

1 要旨・目的

芸備線再構築協議会が実施している鉄道を活用した実証事業Aの進捗を報告するとともに、令和 8 年 5 月を目途に開始予定のバスを活用した実証事業Bの検討状況について報告する。

2 現状・背景

- 令和 7 年 7 月 19 日 実証事業Aの開始
- 令和 8 年 3 月 25 日 第 6 回協議会で令和 8 年度実証事業の実施に必要な予算を承認
- 4 月 1 日～ 実証事業Aの継続実施（令和 8 年 6 月まで）
- 5 月以降～ 実証事業Bの開始（令和 8 年 9 月まで）



3 実証事業Aの実施状況

(1) 芸備線の増便・ダイヤ変更による鉄道サービスの拡充

○ 増便列車の利用状況

《広島・三次～備後落合間》

単位：人

区 分	快速庄原ライナー（三次 10：41 発）			快速（備後落合 12：08 発）		
	三次 10：41 発	備後庄原 11：10 発	備後落合 11：54 着	備後落合 12：08 発	備後庄原 12：54 発	三次 13：23 着
1 便当たり (月単位)						
7/19～11/24 平均利用者数	55	55	45	21	21	20
区 分	快速備後落合リレー号（三次 10：41 発）			快速（備後落合 12：08 発）		
11/29～12 月 (5 日間)	16	16	12	7	6	6
1 月 (4 日間)	14	13	12	8	9	9
2 月 (4 日間)	23	25	22	9	8	8
3 月 (4 日間)	32	28	20	15	16	15
11/29 以降の平均利用者数	21	20	16	10	9	9

《新見～備後落合間》

区 分	普通（新見 10：24 発）			普通（備後落合 12：20 発）		
	新見 10：24 発	東城 11：07 発	備後落合 11：57 着	備後落合 12：20 発	東城 13：11 発	新見 13：58 着
1 便当たり (月単位)						
7/19～11/24 平均利用者数	26	20	18	31	25	25
11/29～12 月 (5 日間)	12	11	10	10	9	16
1 月 (3 日間)	8	9	8	10	9	11
2 月 (4 日間)	28	13	13	16	15	13
3 月 (4 日間)	30	17	14	15	11	14
11/29 以降の平均利用者数	20	13	11	13	11	14

※ 休日日中に実施した列車調査の結果では、芸備線の利用目的として、「乗車自体」と回答した利用者が、全体の約 5 割～6 割

(2) 増便列車等に接続する二次交通

○ 駅と観光地を結ぶ無料シャトルバスの利用状況

運行区間	実施期間	平均利用者数
備後西城駅～県民の森	R7. 7. 19～11. 24 (土日祝：計 43 日間)	8 人/日
東城駅～帝釈峡	R7. 7. 19～11. 24 (土日祝：計 43 日間)	13.4 人/日
東城駅～帝釈峡 (神龍湖)	R7. 12. 6～12. 27 (土曜日：計 4 日間)	0.5 人/日
備後落合駅～県民の森	R8. 1. 10～2. 28 (土曜日：計 8 日間)	6.3 人/日



(3) 芸備線を活用したにぎわいの創出

① 列車を活用した取組

実施内容	実施期間	実施結果
備後庄原～備後落合間の列車内でのオーディオドラマ配信	R7. 10. 25～R8. 2. 28	参加者： 168 名 ダウンロード数： 337 件
地元観光ガイドの観光案内	R7. 12. 6～12. 27 (土曜：計 4 日間)	乗車人数： 290 名



② 駅弁の販売

実施内容	実施期間	実施結果
芸備線応援弁当「芸備浪漫 (庄原編)」を販売	R7. 11. 22～12. 27 (土日祝) R8. 2. 14～2. 28 (土曜)	販売数： 85 個



③ 駅周辺のにぎわい創出

実施内容	実施期間	参加人数
比婆山駅 90 周年記念 比婆山駅まつり	R7. 9. 20	500 名
備後落合駅開業 90 周年記念イベント	R7. 10. 5	1,000 名
庄原駅前フェスタ	R7. 10. 5	1,000 名
東城まるごとフェス	R7. 11. 3	1,500 名
県境鉄道フェスタ	R7. 11. 23	150 名



④ 観光ツアー造成

実施内容	実施期間	参加人数
芸備線で行く！夏の比婆山お散歩登山	R7. 7. 26、8. 30	42名
芸備線で行く！道後山お散歩登山&りんご狩り	R7. 9. 20、10. 4、10. 11	53名
芸備線で行く！帝釈峡秘境めぐり(神龍湖エリア)	R7. 10. 18、10. 25	40名
芸備線で行く！秋の雄橋の旅	R7. 11. 1、11. 8、11. 15	59名
口和フットパスウォーキングツアー	R7. 11. 15	10名
芸備線で行く！備北イルミネーションの旅	R7. 11. 22、11. 29	28名
冬の芸備線 地酒を愉しむ旅	R8. 2. 14	18名
ひろしま県民の森「雪山感謝祭」ツアー	R8. 2. 22	29名
芸備線で行く！芸備線で降りて味わうそば打ち体験と大人の寺子屋	R8. 2. 28、3. 7	14名
芸備線で行く！高野ガイドと巡る雪国ガストロノミーとたたらの旅(一泊二日)	R8. 2. 28～3. 1	6名
芸備線で行く！景勝地帝釈峡と知られざる庄原の酪農体験旅(一泊二日)	R8. 3. 8～3. 9	6名
合 計		305名

⑤ 企画乗車券等の設定

実施内容	実施期間	実施結果
「バス&レールどっちも乗り放題パス2デイ(三次⇄東城)」販売	R7. 10. 28～R8. 3. 31	利用人数：67名
芸備線利用者割引等サービス	R8. 1. 9～R8. 2. 28	買い物等割引券：349枚 バス無料乗車券：29枚



⑥ 広域的な周遊コンテンツとの連携

実施内容	実施期間	実施結果
スマホによるデジタル周遊スタンプラリーを実施	R7. 10. 25～R7. 12. 4 R7. 12. 13～R8. 2. 23	参加人数：509名 延べ押印数：1,547件

(4) 取組内容を効果的に発信するプロモーションの実施

ヘッドマーク風ロゴ



文字組みロゴ



キャンペーンポスター



(5) 実証事業Aに伴う経済効果額等の状況

区分	R7. 3 時点試算額	R8. 2 時点の実績額	差
費用	8.1 億円	8.3 億円	0.2 億円
経済効果等	6.6 億円	4.3 億円	▲2.3 億円

※ なお、最終的な実績額は、6月の実証事業A終了後に示される予定

(6) 令和8年4月～6月までに実施する実証事業Aの内容

① 芸備線の増便・ダイヤ変更による鉄道サービスの拡充

- 臨時列車運行（4月4日～6月28日の土休日：合計30日間）

観光など、芸備線を利用して、庄原市・新見市への来訪者拡大を図ることを目的に実施

【広島－備後落合間】

広島 9:07 発 ⇒ 備後庄原 11:10 発 ⇒ 備後落合 11:54 着 快速「庄原ライナー」
 備後落合 12:08 発 ⇒ 備後庄原 12:54 発 ⇒ 広島 15:09 着 快速

【新見－備後落合間】

新見 10:24 発 ⇒ 東城 11:07 発 ⇒ 備後落合 11:57 着
 備後落合 12:20 発 ⇒ 東城 13:11 発 ⇒ 新見 13:58 着

② 増便列車等に接続する二次交通の設定

- 芸備線の駅と観光地を結ぶ無料周遊バス運行（4月4日～6月28日の土休日）

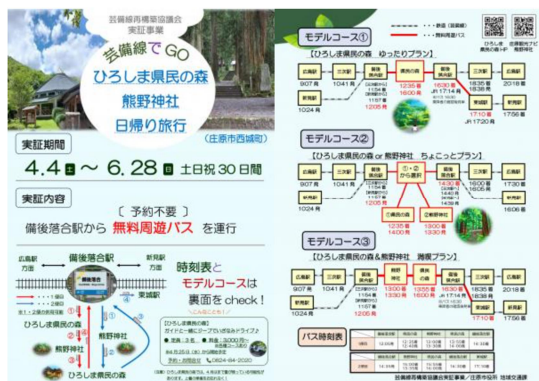
芸備線と観光資源の接続と乗り継ぎを円滑にすることを目的に実施

【西城地域ルート】

備後落合駅 ⇒ ひろしま県民の森 ⇒ 熊野神社 ⇒ ひろしま県民の森 ⇒ 備後落合駅
 備後落合駅 ⇒ 熊野神社 ⇒ ひろしま県民の森 ⇒ 備後落合駅 ⇒ 東城駅

【東城地域ルート】

東城駅 ⇒ 上帝釈 ⇒ 神龍湖 ⇒ 東城駅



③ 芸備線を活用したにぎわいの創出

- 観光ツアーの造成

臨時列車の運行等に併せて、着地型観光ツアーを造成・販売

- ・ 二連原並木・蓮照寺シダレザクラの春を味わう旅（広島・三次発） 4/11 実施
- ・ 東城三本桜と春を味わう旅（新見発） 4/12 実施



4 実証事業Bの検討状況

(1) 実証事業Bの目的・取組内容

令和7年度調査事業において試算したバス運行に伴う地域経済効果の検証等を行うため、住民や来訪者などの利用者ニーズや交通事業者の現況を踏まえた上で、令和8年度実証事業Bを実施

- ① 芸備線沿線の日常利用向けバス実証運行（令和8年5月以降～）
 - ・ 芸備線沿線の主要道路を幹線的に運行するバスを設定
 - ・ 日常利用者を対象とした乗車モニター調査
- ② 芸備線沿線の観光利用向けバス実証運行（令和8年7月～）
 - ・ 実証事業Aの増便列車と同じ区間・時間帯でバスを運行
- ③ にぎわいの創出
 - ・ バス実証運行に合わせた観光ツアーの造成
 - ・ 観光施設等の割引利用券とセットになった企画乗車券の設定等
 - ・ 沿線地域で実施されるイベント等の取組支援
- ④ SNS等を活用したプロモーションの実施

(2) 日常利用者向けバス実証の運行区間

運行区間や運行ダイヤ等については、利用の利便性向上を図った上で、利用者ニーズや交通事業者の状況を踏まえて設定

【実証事業B】平日バス実証の運行区間



(3) 実証事業Bに伴う経済効果額等の試算

区分	R8.3時点試算額
費用	1.9億円
経済効果等	1.5億円

※ 今後、5月以降～9月まで実証事業Bを実施し検証